

2016年3月7日(月)
開催

早稲田大学レジリエンス研究所
第5回原子力安全規制・福島復興シンポジウム
東日本大震災と福島原発事故から5年
～原子力安全規制の今後のあり方と福島復興を考える～

概要

東日本大震災・福島原発事故から2016年3月11日で5年を迎えます。早稲田大学は、2011年5月に東日本大震災復興研究拠点を設立し、早稲田大学の知的共同体として叡智を結集し、被災地復興に貢献すべく研究を行ってまいりました。本シンポジウムでは、福島原発事故の教訓を踏まえた原子力安全規制(原発事故時の避難計画等)とバックエンドの問題(放射性廃棄物の最終処分場)について議論します。また、東日本大震災・福島原発事故からの復興に取り組む福島県の状況と課題について、福島県からの参加者とシンポジウム参加者を交え、議論したいと考えています。

日時・会場

主催 : 早稲田大学レジリエンス研究所
<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>
日時 : 2016年3月7日(月)13:00-17:30
会場 : 早稲田大学19号館(早稲田大学西早稲田ビル)710教室
講師 : 師岡慎一(早稲田大学)、黒川哲志(早稲田大学)、中川唯(東京工業大学)、森口祐一(東京大学)、太田宏(早稲田大学)、島田剛(静岡県立大学)、平川秀幸(大阪大学)、勝田正文(早稲田大学)、大手信人(京都大学)、吉田朗(早稲田大学)、吉田恵美子(いわきおてんとSUN企業組合)、菅波香織(未来会議事務局)、島田守彦(いわきおてんとSUN企業組合)、磯辺吉彦(広野わいわいプロジェクト事務局長)、友成真一(早稲田大学)、松岡俊二(早稲田大学)(順不同)

申込方法: 事前登録制(定員60名)に達し次第締め切ります。
参加費 : 無料

アクセス・地図



プログラム

MC: 中川唯 (東京工業大学)

13:00 **基調報告**
松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

第1部: 福島原発事故後の原子力政策をめぐる5年 ～オフサイト対策とバックエンド問題を考える～

モデレーター: 師岡慎一(早稲田大学・特任教授)
討論者: 森口祐一(東京大学・教授)
太田宏(早稲田大学・教授)
島田剛(静岡県立大学・准教授)
平川秀幸(大阪大学・教授)

- 福島原発事故と放射性廃棄物処理の課題
黒川哲志(早稲田大学・教授)
- 福島原発事故の教訓と原発事故時における避難計画をめぐる動き
中川唯(東京工業大学・博士課程)

15:00 休憩

第2部: 東日本大震災・原発事故から5年を経た福島復興の現状 と課題～長期的支援のための制度形成を考える～

モデレーター: 勝田正文(早稲田大学・教授)
討論者: 島村守彦(いわきおてんとSUN企業組合・事務局長)
磯辺吉彦(NPO法人・広野わいわいプロジェクト事務局長)
友成真一(早稲田大学・教授)

- 福島における森林生態系内の放射性セシウムの動態
大手信人(京都大学・教授)
- 福島原発事故による避難者と賠償問題～賠償から保障へ～
吉田朗(早稲田大学・博士課程)
- 福島における大震災・原発事故後の課題と取り組みの経緯および今後について
吉田恵美子(いわきおてんとSUN企業組合・代表、NPO法人 The People・理事長)
- 福島浜通り地域の現状と将来～故郷への帰属意識を前提とした新たなコミュニティ作りに向けて～
菅波香織(未来会議事務局・弁護士)
- 「際」からみた事故後の環境回復の課題
森口祐一(東京大学・教授)

17:20 **閉会挨拶**
松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

申込・問い合わせ

申込・問い合わせ先: [jyuten-fukkou\(アットマーク\)list.waseda.jp\(アットマークを@に修正し、送付してください。\)](mailto:jyuten-fukkou@list.waseda.jp)
氏名(フリガナ)、所属先、メールアドレスを記載の上、上記メールアドレス宛てにお申し込みください(先着60名)
※本シンポジウムは、早稲田大学総合研究機構からの助成を受け開催しています。